

美しい式番街(緑の号) (その1, 1996年5月1日)

コープ野村南流山式番街管理組合+緑化専門委員会

1. あいさつ

管理組合の下に緑化専門委員会が発足したことを掲示板でお知らせいたしました。私たちは本誌面を借りて、現在、当マンションの緑化に関して抱えている問題点についてお伝えし、居住者の皆様に今後の緑化に関する活動についてご理解をいただきたいと思います。大規模修繕工事を中心に扱う『美しい式番街』共々、よろしくお願いいたします。

緑化専門委員会 委員長 川井雅之

2. 当マンションの緑化に関わる問題点

(1) 緑化に関する長期計画がない

5年ほど前、当マンションの緑の量が少なかったことから、居住者の有志の皆さん、奥山管理人さんにより植栽が進められてきました。しかし、緑化についての長期計画がないことから、今後、どのようにしてよいのか手詰まりの状態でした。

(2) ケヤキの成長に伴って発生した問題

ケヤキの木は神社や学校に植えられるように大きな樹となります。しかし、当マンションの敷地境界に植えられたケヤキは、その成長によって次の問題を発生させることになっています。

「根の成長により道路側の縁石ブロックやU字溝を押しやり、カラー舗装を押し上げ、ひび割れを入れ始めている。」

2号棟から駅へ向かう東側、集会所の南側などのケヤキの木はその幹の成長により、道路側の縁石ブロックを押しやっています。U字溝が傾いてくると大量の水が流れた場合、洗掘（水がU字溝の裏を流れて土を無くし、空洞となってしまう）などを生じさせ、大きなトラブルを招きかねません。また、上記の場所や1号棟とゴミ集積所の間にあるケヤキの根はその成長により、カラー舗装を押し上げ、ひび割れを入れています。今後、他のケヤキについてもその根の成長に伴い、カラー舗装を凸凹にし、ひび割れを入れ、将来、大々的に補修が必要となります。（写真1～4参照）

現在、当マンションの敷地境界にあるケヤキの木はU字溝から50cm程度しか離れていないことから、根や幹が自由に伸びるスペースがない状態です。また、当マンションは江戸川に近いことから地下水位が高く、根が水平に多く張ろうとするのも一つの要因となっていると考えられます。

実際、ケヤキの根の成長によりその周囲の低木は根を張るスペースがなく、枯れていくものもあります。

このようなことからケヤキをこのままの状態で放置するのは、今後、多額の修繕費用を発生させる要因ともなることから、根本的な対策が必要となっています。



写真1 2号棟東側のケヤキの根の
成長によりひび割れたカラー舗装,
道路側に押しやられた縁石ブロック



写真2 2号棟東側のケヤキの根の
成長により道路側に押しやられた
縁石ブロック



写真3 集会所南側のケヤキにより
押しやられたU字溝



写真4 1号棟とごみ集積所のひび割れ

(3) 資産価値の向上

当マンションの東面は南流山駅から皆さんが行き来する動線上に位置します。このため、当マンションの資産価値の向上の意味からこの部分の整備が必要となります。